

12-111-1108

# 昇降式移動足場

## 「アップスター」取扱説明書

目 次	
仕様・組立図	----- 1 P
単体使用 組立手順	----- 2 P
連結使用 組立手順	----- 5 P
使用上の注意事項	----- 7 P
メンテナンス	----- 7 P

**◆ 住友金属建材株式会社**

作業の省力化・効率化に

## 最適な昇降式移動足場 アップスター

高所作業から天井仕上げ作業まで、あらゆる作業に適した高さが、簡単に・能率的にかつ安全に確保できます。

軽量で強靱性に優れ、しかも、1人で操作が出来るように設計された昇降式移動足場です。

### 仕 様

#### 仕 様

作業床寸法	巾	590 mm
	長さ	1500 mm

作業床高さ	最低	860 mm
	最高	2500 mm

高さ調節	4段階	2500 mm
		2020 mm
		1440 mm
		860 mm

自重	約120 kg (手摺材・巾木材を含む)
----	-------------------------

駆動装置	手動式 (バネバランス方式)
------	-------------------

積載荷重	200 kg (作業者を含む)
------	--------------------

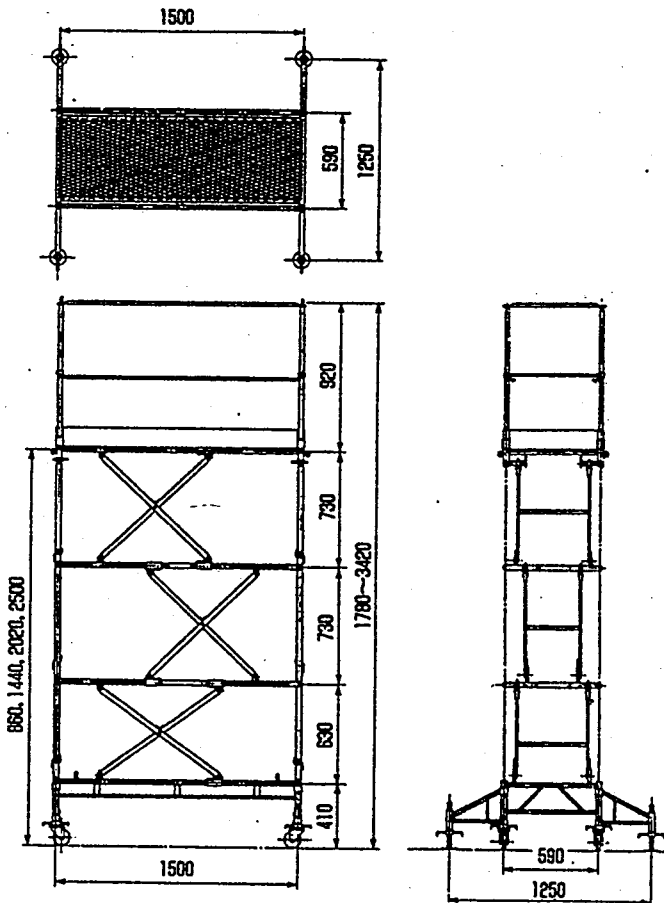
表面処理	溶融亜鉛メッキ (一部電気メッキ)
------	----------------------

#### 品 番

本体	US-25
----	-------

鋼製布板	BKN-15US (連結時使用)
------	---------------------

ブレース材	A-11 (連結時使用)
-------	-----------------



#### 組立図

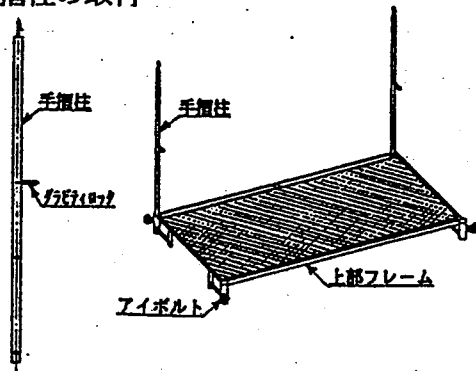
# 単体使用組立手順

## 1. 組立前の注意事項

- (1) 組立作業主任者は、作業員の保護帽の着用等安全服装を確認のうえ、作業内容、安全上の諸注意を説明し徹底させる。
- (2) 使用場所の平坦度及び、上空空間の安全性を確認し、使用高さ（作業床高さ 860, 1440, 2020, 2500mm）を決定する。

## 2. 組立手順

### (1) 手摺柱の取付

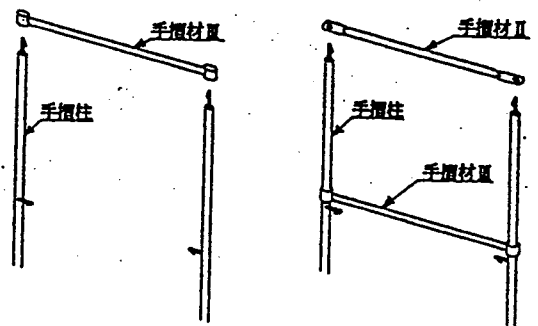


手摺柱は、重力ロックが内側方向へ向くように、上部フレームの四隅に差し込みロックピンで固定します。

（アイボルトは、手摺材・巾木材をセット後締めつけ、手摺の揺れを防止します。）

### (2) 手摺材の取付

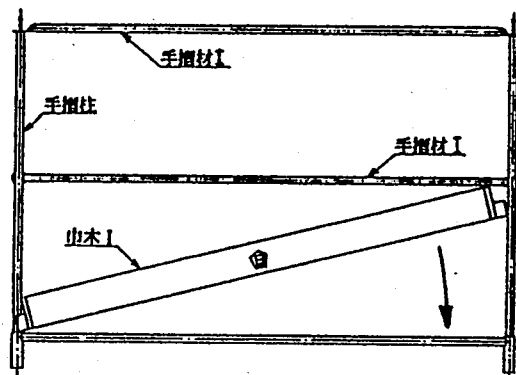
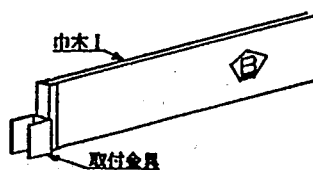
手摺材は、裏面の手摺材Ⅲを手摺柱に差し込み、続けて手摺材Ⅱを取付ける。最後に手摺材Ⅰを4本セットする。



### (3) 巾木材の取付

巾木は、長い方の巾木Ⅰを先にセットします。セット方法は次の手順です。

- ① 巾木Ⅰは、取付金具を下側にし表側（ビティマーク）を外側に向けます。



巾木材を斜めにし、下方を先に手摺柱に差し込み上方を反対側の手摺柱に入れ、下まで下げます。

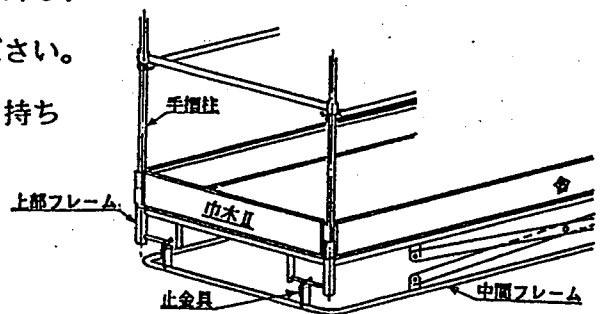
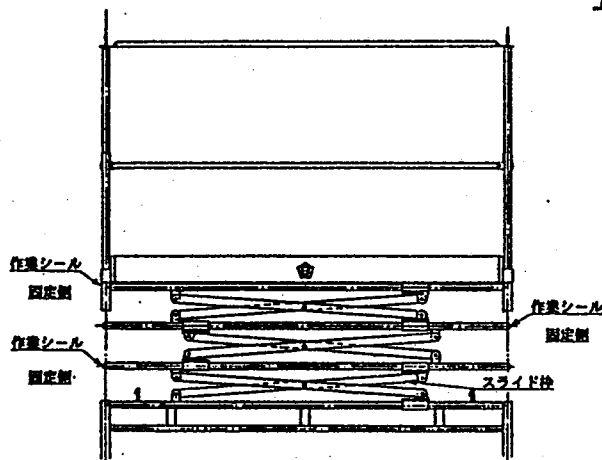
② 巾木Ⅱは、取付金具の付いている方を上にし、表側を外側へ向けて巾木Ⅰと同じように斜めにして下方より手摺柱に差し込み、続いて上方を反対側の手摺柱に入れ、作業床まで下げます。

(4) 手摺柱固定用アイボルト

手摺材・巾木の設置を完了すると、各手摺柱（4本）のアイボルトを確実に締めつけ、手摺柱の揺れを防止してください。

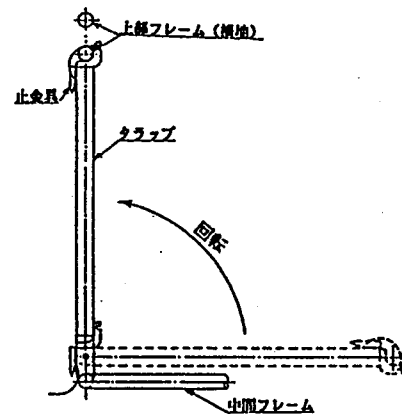
(5) 1段目の上昇（下降は逆手順）

- ① 1段目の止め金具（左右各2箇所）を外し、上部フレーム（床面）を持ち上げてください。  
（バネが内蔵されておりますので、軽く持ち上がる様になっております。）



上昇（下降）作業は、スライド枠の固定側（作業シール貼付）にて作業してください。

- ② 折り畳んだ左右のタラップを起し、上部フレームの横地に合わせ、先端の止め金具（左右各2箇所）を締めつけます。



(6) 2段目の上昇（下降は逆手順）

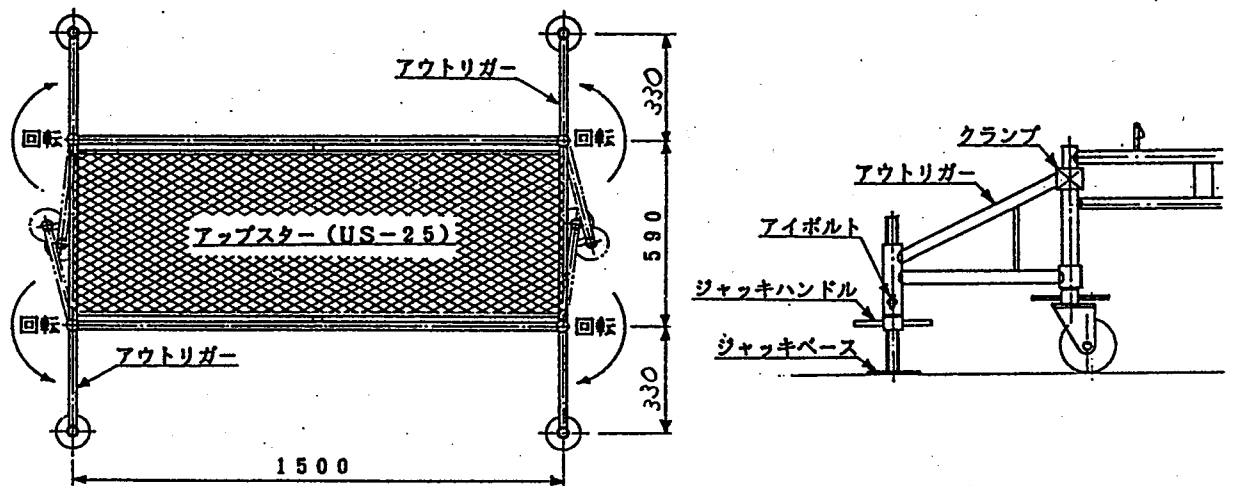
1段目と同様に止め金具を外し、フレームを持ち上げてから左右のタラップを起し、タラップの先端の止め金具を締めつけます。上昇（下降）作業は、スライド枠の固定側（作業シール貼付）にて作業してください。

(7) 3段目の上昇（下降は逆手順）

前記と同様に作業します。

## (8) アウトリガーの設置

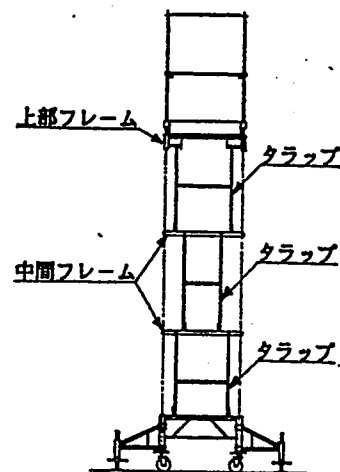
アウトリガーは、下図の方向に必ず使用してください。



- ① アウトリガーを所定の方向に回転し、アウトリガーのクランプを確実に締め込み固定します。
- ② アウトリガーのジャッキ固定用アイボルトを緩めジャッキベースを下ろし、ジャッキハンドルにてアップスターの水平を確保します。
- ③ 4本のジャッキベースの調節により  
本体の水平が出れば、アイボルトを締め  
ジャッキを確実に固定します。

## (9) 以上の作業で組立は完了です。

作業床への昇降は、タラップの階段を利用してください。



## (10) 横移動

横移動は、ジャッキ固定用アイボルトを緩め、ジャッキを上げアウトリガーを折り畳み  
キャスターのブレーキを解除して所定の位置に移動します。

移動に関しては、天井等上空空間の安全性を確認して行ってください。

危険な場合は、作業床を1段下げて移動してください。

## 3. 解体手川頁

解体作業は、組立作業の逆の手順で行います。

## 連結使用組立手順

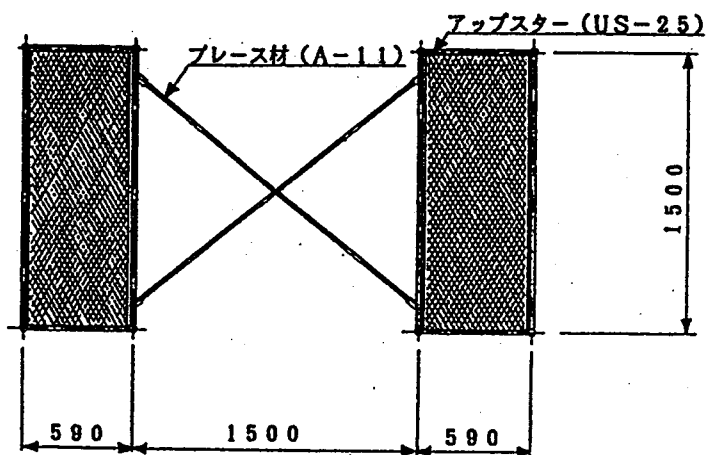
### 1. 組立前の注意事項

単体使用時と同様

### 2. 組立手順

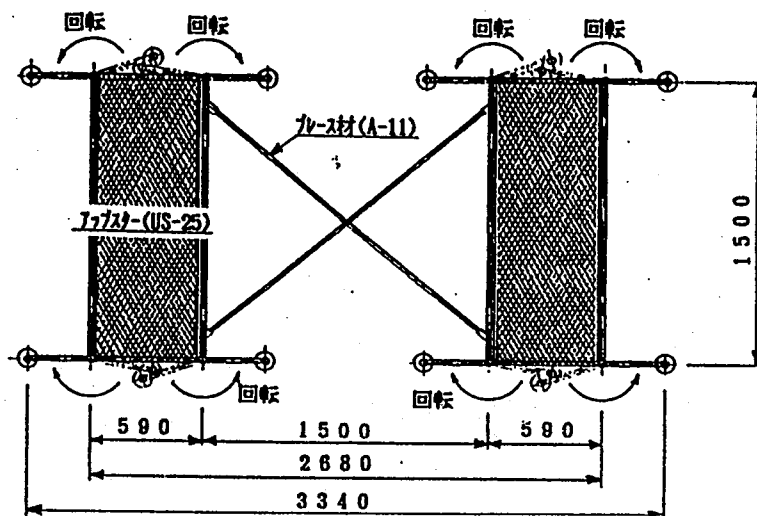
- (1) 手摺柱の取付            単体使用時と同様
- (2) 手摺材の取付           単体使用時と同様 (ただし連結側の手摺材は取り付けない。)
- (3) 巾木材の取付           単体使用時と同様 (ただし連結側の手摺材は取り付けない。)
- (4) 設置場所の安全確認    単体使用時と同様
- (5) 連結

2台のアップスターを平行に並べ、ブレース材(A-11)で下図の様に連結する。



### (6) アウトリガーの設置

アウトリガーは、下図の方向に各々使用します。



## (7) 作業床の設置 (連結部)

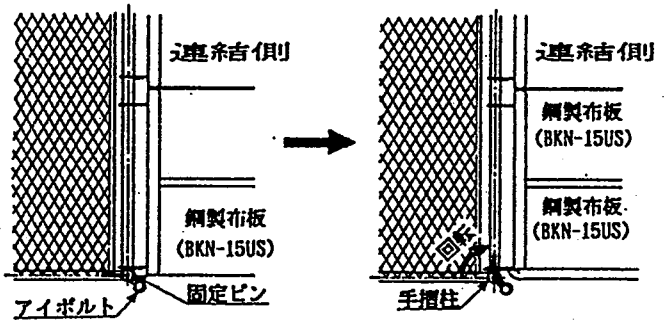
作業床は、各々のアップスターを単体使用時と同様に1段上昇させてから、専用の鋼製布板 (BKN-15US) を3枚使用します。

## (8) 連結時の手摺柱・手摺材・巾木材の設置

① 手摺材・巾木材がある場合は、各々連結側の手摺材・巾木材をはずします。

② 右図の通り、各々連結側の手摺柱を90度回転させ、ロックピンで固定します。

③ 手摺材・巾木材を単体使用時と同様に取り付け、組立が完了します。



## (9) 手摺柱固定用アイボルト

手摺材・巾木材の設置を完了すると、各手摺柱 (4本) のアイボルトを確実に締めつけ、手摺柱の揺れを防止してください。

## (10) 2段目の上昇 (下降は逆手順)

単体使用時と同様に、左右のアップスターの止め金具を外し、2台同時にフレームを持ち上げてからタラップを起し、タラップ先端の止め金具を締めつけます。

上昇 (下降) 作業は、スライド枠の固定側 (作業シール貼付) にて作業してください。

## (11) 3段目の上昇 (下降は逆手順)

前記と同様に作業します。

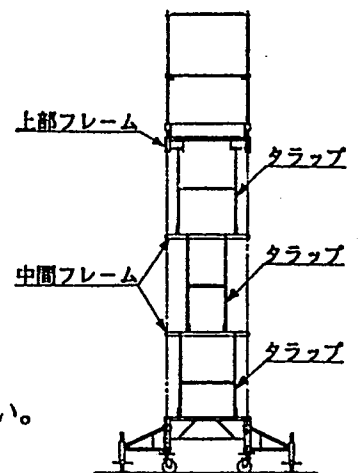
## (12) 以上の作業で組立は完了です。

作業床への昇降は、タラップの階段を利用してください。

## (13) 横移動

横移動は、天井等上空空間の安全性を確認して行ってください。

危険な場合は、作業床を1段下げて移動してください。



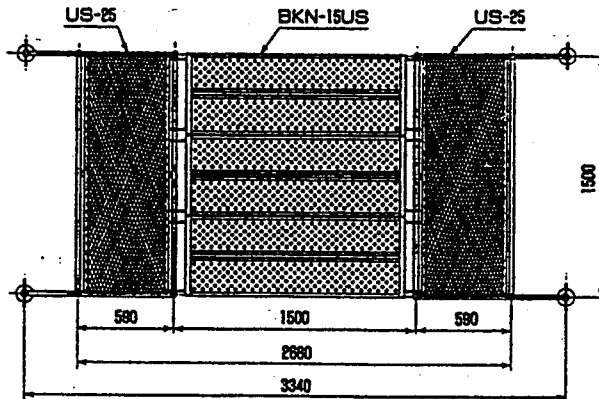
## 3. 解体手順

解体手順は、組立作業の逆の手順で行います。

## 使用上の注意事項

1. 積載荷重は、作業者を含めて200kgです。

連結使用時は、1台当り150kgの等分布荷重で検討してください。



2台セットした場合の計算例

$$150 \text{ kg} \times 2 \text{ 台} \div 4 \text{ m}^2 = 75 \text{ kg/m}^2$$

( 作業床面積 約4m<sup>2</sup> )

2. アウトリガーは、必ず正規の方向に広げて使用してください。
3. 移動防止のため、車輪はすべてロックしてください。
4. 必ず平坦な場所又は、本体を水平にして使用してください。
5. 人を乗せたまま、移動させないでください。

## メンテナンス

### 1. 日常点検

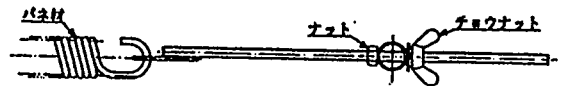
- (1) 使用に当たっては、部材の点検を行い不具合部は、補修または取り替えを行い使用する
- (2) バネは、出荷時調整しておりますが、作動状況を確認し、動作不良の場合は下記のとおり調節してください。

① バネを調節する必要がある段のフレームを上げ、固定します。

② バネ取り付け部のチョウナットと内側のナット

を緩めてから、チョウナットにて

バネ材の調節を行ってください。



③ 内側のナットを締めて（緩み止め）完了します。

### 2. 保管

- (1) 保管は原則として屋内保管とし、屋内保管が無理な場合は、シート等により養生してください。
- (2) 特に、回転部・スライド部の管理に注意してください。

以 上